

令和5年定例会 5月特別議会  
教育民生常任委員会調査報告書

令和5年5月12日

教育民生常任委員会

# 教育民生常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和5年2月2日～令和5年5月11日

日時	活動区分	内 容	頁
2. 2 (木) 11:10～11:55	協 議	<p>《委員のみ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月定期議会中における調査事項について</li> <li>■ 委員会調査報告書について</li> </ul> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名</p>	—
2. 8 (水) 10:00～11:40	協 議	<p>《委員のみ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新図書館について</li> <li>■ 2月定期議会中における調査事項（変更）について</li> </ul> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名</p>	7
2. 13 (月) 10:00～16:40	所管事務調査① (議案調査)	<p>《市民生活部》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて</li> <li>■ 登米市犯罪被害者等支援条例の制定について</li> <li>■ 登米市手数料条例の一部を改正する条例について</li> <li>■ 登米市基金条例の一部を改正する条例について</li> <li>■ 登米市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について</li> <li>■ 登米市児童厚生施設条例の一部を改正する条例について</li> <li>■ 登米市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について</li> <li>■ 登米市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について</li> <li>■ 登米市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について</li> <li>■ 令和4年度登米市一般会計補正予算（第10号）について</li> <li>■ 令和4年度登米市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について</li> </ul>	—

日時	活動区分	内 容	頁
		<p>■令和4年度登米市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）について</p> <p>■令和4年度登米市介護保険特別会計補正予算（第5号）について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 市民生活部 三浦部長ほか13名</p>	—
	所管事務調査②	<p>《総務部・教育委員会》</p> <p>■米山地区公共施設複合化整備事業の概要について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 総務部 平山部長ほか4名 教育委員会 小林部長ほか2名</p>	9
2.22(水) 9:00~16:45	所管事務調査③ (議案調査)	<p>《医療局》</p> <p>■登米市病院事業、老人保健施設事業及び訪問看護ステーション事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について</p> <p>■令和4年度登米市病院事業会計資本剰余金の処分について</p> <p>■令和4年度登米市病院事業会計補正予算（第7号）について</p> <p>■令和4年度登米市老人保健施設事業会計補正予算（第4号）について</p> <p>■令和5年度登米市病院事業会計予算について</p> <p>■令和5年度登米市老人保健施設事業会計予算について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員7名 医療局 千葉病院事業管理者ほか13名</p>	—
	所管事務調査④ (議案調査)	<p>《教育委員会》</p> <p>■令和4年度登米市一般会計補正予算（第10号）について</p> <p>■新図書館整備事業について</p>	—

日時	活動区分	内 容	頁
		<p>■その他（報告事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津山小学校の校章及び校歌について</li> <li>・中学校再編に係る地域説明会について</li> <li>・南方総合運動場（西郷体育館）について</li> </ul> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員 7名 教育委員会 小野寺教育長ほか 12名</p>	—
	所管事務調査⑤	<p>《総務部・教育委員会》</p> <p>■米山地区公共施設複合化整備事業の概要等について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員 7名 総務部 平山部長ほか 4名 教育委員会 小野寺教育長ほか 7名</p>	9
	協 議	<p>《委員のみ》</p> <p>■委員会調査報告書について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員 7名</p>	—
2.28(火) 9:00~17:00	所管事務調査⑥ (議案調査)	<p>《教育委員会》</p> <p>■令和5年度登米市一般会計予算について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員 8名 教育委員会 小野寺教育長ほか 14名</p>	—
	所管事務調査⑦ (議案調査)	<p>《市民生活部》</p> <p>■令和5年度登米市一般会計予算について</p> <p>■令和5年度登米市国民健康保険特別会計予算について</p> <p>■令和5年度登米市後期高齢者医療特別会計予算について</p> <p>■令和5年度登米市介護保険特別会計予算について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員 8名 市民生活部 三浦部長ほか 12名</p>	—

日時	活動区分	内 容	頁
	所管事務調査⑧	<p>《医療局》</p> <p>■令和4年度登米市病院事業（患者数、料金収入） 〔4月～1月の状況〕について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 医療局 阿部次長ほか2名</p>	—
	協 議	<p>《委員のみ》</p> <p>■委員会調査報告書について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名</p>	—
3.2(木) 13:50～16:45	所管事務調査⑨	<p>《総務部・教育委員会》</p> <p>■米山地区公共施設複合化整備事業の概要等について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 総務部 平山部長ほか4名 教育委員会 小野寺教育長ほか6名</p>	9
3.22(水) 10:00～15:00	所管事務調査⑩ (議案調査)	<p>《市民生活部》</p> <p>■登米市国民健康保険条例の一部を改正する条例について</p> <p>■令和4年度登米市一般会計補正予算（第12号）について</p> <p>■令和4年度登米市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）について</p> <p>■令和4年度登米市介護保険特別会計補正予算（第6号）について</p> <p>■令和5年度登米市一般会計補正予算（第1号）について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 市民生活部 三浦部長ほか12名</p>	—
	所管事務調査⑪ (議案調査)	<p>《教育委員会》</p> <p>■令和4年度登米市一般会計補正予算（第12号）について</p> <p>〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 教育委員会 小野寺教育長ほか12名</p>	—

日時	活動区分	内 容	頁
	所管事務調査⑫ (議案調査)	《医療局》 ■令和4年度登米市病院事業会計補正予算(第8号)について ■令和4年度登米市老人保健施設事業会計補正予算(第5号)について 〔出席者〕武田委員長ほか委員8名 医療局 千葉病院事業管理者ほか5名	—
	協 議	《委員のみ》 ■委員会調査報告書について 〔出席者〕武田委員長ほか委員8名	—
4.4(火) 10:00~11:50	協 議	《委員のみ》 ■委員会調査報告書について 〔出席者〕武田委員長ほか委員7名	—
4.13(木) 13:30~15:50	所管事務調査⑬	《市民生活部》 ■登米保健所の支所化に伴う現状について 〔出席者〕武田委員長ほか委員8名 市民生活部 佐々木部長ほか8名	16
	協 議	《委員のみ》 ■委員会調査報告書について 〔出席者〕武田委員長ほか委員8名	—
4.24(月) 13:00~13:40	協 議	《委員のみ》 ■委員会調査報告書について 〔出席者〕武田委員長ほか委員8名	—
5.9(火) 13:30~14:50	所管事務調査⑭ (議案調査)	《市民生活部》 ■令和5年度登米市一般会計予算について 〔出席者〕武田委員長ほか委員8名 市民生活部 佐々木部長ほか7名	—
	協 議	《委員のみ》 ■委員会調査報告書について 〔出席者〕武田委員長ほか委員8名	—

## 教育民生常任委員会 活動概要

### 【協議】

1. 日 時：令和5年2月8日（水） 午前10時～午前11時40分
2. 場 所：迫庁舎 3階 第2委員会室
3. 協 議：新図書館について  
（委員間討議）
4. 参 加 者：委員長 武田 節夫、副委員長 熊谷 和弘  
委 員 遠藤 真理子、永島 順子、曾根 充敏、日下 俊、  
工藤 淳子、中澤 宏、田口 政信  
  
（議会事務局）主査 鮫名 克宏
5. 概 要：（別紙のとおり）
6. 所 見：（別紙のとおり）

## ■新図書館について

### (概要)

これまでに行った所管事務調査及び新図書館のコンセプトについての意見交換会等の内容を踏まえて、自由討議を行ったもの。

### (所見)

新図書館については、市民や有識者の検討組織が立ち上げられるものと思うが、「核となる考え方」を持っていないと、市民が望む「希望の持てる図書館」にはならないのではないかという意見があった。

建物の場所については、立地適正化計画のコンパクトシティに「図書館」も含めるといふ考え方だと、財源的、時間的にも早く建設出来るとしているが

- ①複合化の建物の中に図書館をおくのか
- ②施設は単独に建てて通路で行き来できるようにするのか
- ③立地適正化計画には含まず、別の場所に単独で建てるのか

の3パターンの財政シミュレーションができると良いのではないかと意見も出された。

令和5～7年度の実施計画の中に盛り込まれた『新図書館整備事業』の財源内訳について、今後、説明を求めることにした。

#### 【実施計画財源内訳】

- R5年度→ 573,000円
- R6年度→ 8,979,000円
- R7年度→14,183,000円

## 教育民生常任委員会 活動概要

### 【所管事務調査②、⑤、⑨】

1. 日 時：令和5年2月13日（月） 午後3時～午後3時30分  
令和5年2月22日（水） 午後3時30分～午後4時45分  
令和5年3月2日（木） 午後3時50分～午後4時45分

2. 場 所：迫庁舎 3階 第2委員会室

3. 事 件：米山地区公共施設複合化整備事業について

4. 参 加 者：委員長 武田 節夫、副委員長 熊谷 和弘  
委 員 遠藤 真理子、永島 順子、曾根 充敏、日下 俊、  
工藤 淳子、中澤 宏、田口 政信

（総務部）総務部長 平山 法之、総務部理事兼政策推進監 小野寺 憲司、  
総務部参事兼総務課長 新田 公和、  
総務課公共施設利活用専門監 福泉 淳、  
総務課長補佐 星名 輝紀

（教育委員会）教育長 小野寺 文晃、教育部長 小林 和仁、  
教育部次長兼教育総務課長 菅原 正博、  
教育部次長兼学校教育管理監 飯川 弘芳、  
学校教育課長 高橋 正晴、学校再編推進室長 白岩 登世司、  
生涯学習課長 山形 敦

（議会事務局）主査 鮫名 克宏

5. 概 要：（別紙のとおり）

6. 所 見：（別紙のとおり）

## ■米山地区公共施設複合化整備事業について

### (概要)

現在、検討が進められている基本計画・基本設計・概算事業費の内容について調査したもの。

### 新複合施設での運営管理体制の検討

#### 1. 複合施設の管理運営方針

##### 【管理運営のコンセプト】

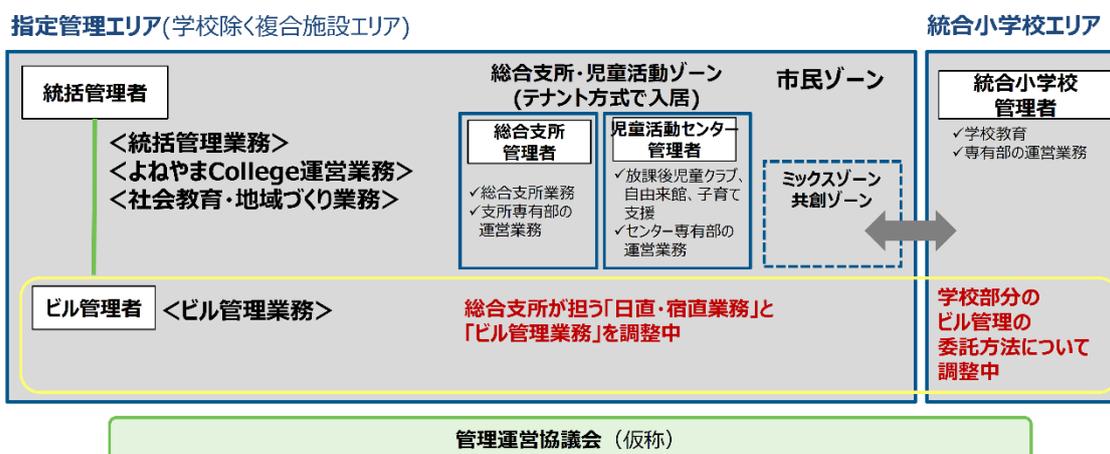
「複合化メリットを生み出すために、全体最適・新しい発想がかなう運営体制」

##### 【管理運営の基本方針】

- ①複合化メリットを生かし、相互に連携を図りやすい一体化された管理運営
- ②市民や産業界の参画による、多様な活動と多世代の交流を促す管理運営
- ③管理等の一元化による、効果的・効率的な管理運営

#### 2. 管理運営体制の検討 エリア管理の考え方

- 「統合小学校エリア」と「指定管理エリア（学校を除く複合施設エリア）」に区分
- 「総合支所」「児童活動センター」はテナント方式で複合施設に入居
- 「ミックスゾーン・共創ゾーン」は統括管理者の管理（指定管理エリア）とする



# 地域づくりの発展に向けた『よねやま College』の検討

## 1. 『よねやま College』の提案背景

### ■「地域づくり」の課題と求められる取組

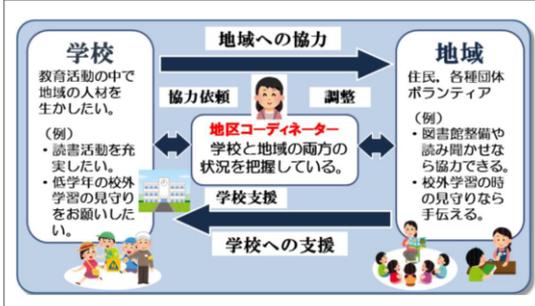
**登米市総合計画で掲げられる課題**

- ・ 事業参加者の固定化・関心の低下
- ・ ニーズの多様化・ライフスタイルの変化への対応
- ・ 学習成果を個人の生活や地域に還元できる機会の提供

**求められる取組・機能**

- ・ 高齢世代のみならず、若い世代、地元企業等、様々な背景を持った人々の参画を活性化する仕組み
- ・ 個人の学習成果を発信し、地域に還元する場の充実

### ■登米市学校・地域教育力向上対策事業について



出典：「登米市のコミュニティスクール」より

### ■コミュニティスクールの更なる発展が期待されている

- (総合計画より)
- ・ これまでのコミュニティ活動に加えて新たな地域活動を生むことによる地域活性化を期待
  - ・ 地域ぐるみで子どもを育てるための社会教育の充実

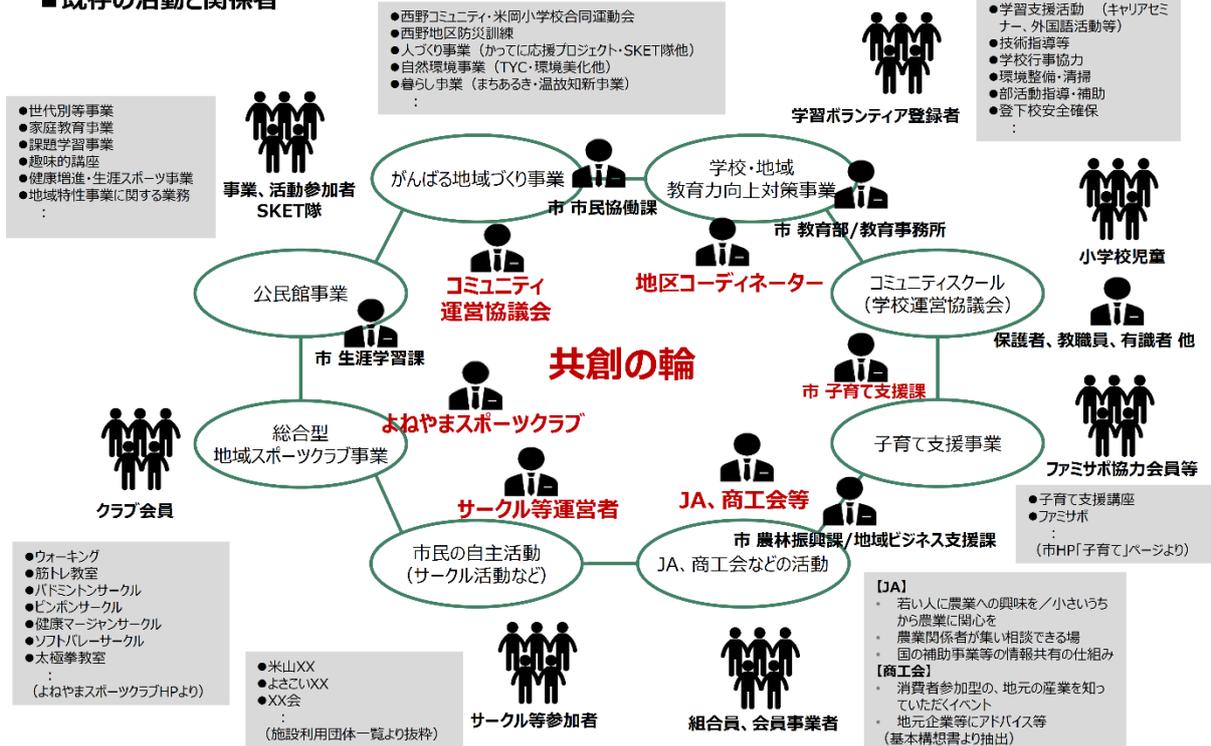
#### ※現在の主な活動内容 (H30年度)

- 地区コーディネーターを中心に
- ・ 登下校安全確保 19,119人
  - ・ 学習活動支援 2,355人
  - ・ 環境整備・清掃 1,047人
- 「スキルタイム」支援、キャリアセミナー等

## 2. 米山地区の「地域づくり」の関係者

これまで個々に活動していた団体が、複合施設ができることにより交流が生まれ、「共創の場」となるイメージ。

### ■既存の活動と関係者



## 1. 多世代交流空間 創出に向けた機能の配置構成

### ミックスゾーン

#### ■ 多用途・高機能・共用ゾーン

市民・学校ゾーンの両方から利用可能  
時間でシェアできる学び・活動の共用ゾーン  
(学校優先予約管理・セキュリティ設備配備)

- アリーナ(体育館)
- キッチンスタジオ(調理実習室)
- 音楽スタジオ(音楽室)
- アートスタジオ(工作・理科室)

### 市民ゾーン

#### ■ 様々な居場所を用意した、まちのリビング

市民 commons  
(交流の場、静かなワークスペース)

- 多様な貸し室 道の駅との連携
- 総合支所 待合ロビー
- 児童活動センター

### 学校ゾーン

#### ■ 子供たちの大きな家

「個別最適な学び」と  
「協働的な学び」を育む、  
快適な学び環境

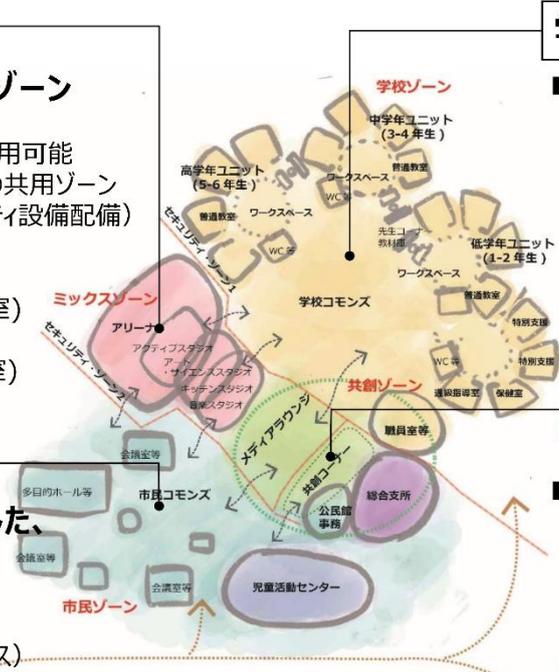
- 学年ユニット
- ワークスペース
- 学校 commons

### 共創ゾーン

#### ■ 子供たちと地域の安心な大人が共創を育む場

学校・学習ボランティア・子育て家族・  
行政(総合支所)・地域活動サークル・  
地元産業が連携

- メディアラウンジ(学校図書館)
- 共創コーナー



## 2. 複合化のメリットを最大化する共創の場

「新しい時代の学び」を実現するための重要な視点

### 運営計画

地域の方々の「学びあい・支えあい」を育む地域づくりの仕組み  
→「よねやまカレッジ」構想

### 建築計画(共創ゾーン)

地域や社会と連携・協働し、  
ともに創造する共創空間を実現

#### 1. メディアラウンジ(学校図書館)

自主的な個人の学びと  
他学年や大人との学びの触れ合い

#### 2. 共創コーナー

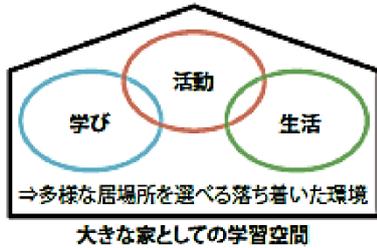
学び・地域づくりの共創拠点



「新しい時代の学び」を実現するための重要な視点

## 【基本方針】子供たちの大きな家

### 1. 複数クラスのメリットを生かし、複数学年をつなぐ 学びあいのコミュニティを形成



下位学年                      上位学年



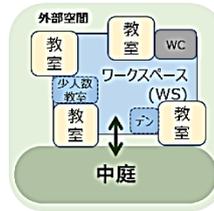
2学年で1つのまとまり  
2クラス × 2学年

- ・各学年 2クラスのつながりの場
- ・上位学年と下位学年の触れ合い (教える・教わる)

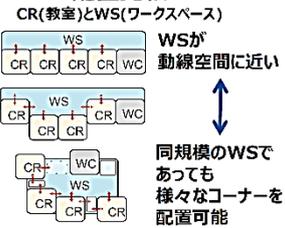
### 2. 教室・ワークスペース・外部空間を 一体の学び空間として有効活用

- ・配置の工夫で、多様な学び空間を構成
- ・変化に富んだ空間が、使い方を想起させる

#### 教室ユニットのイメージ



#### 配置比較



### 3. 学年や教科を超えた学び、学習への集中と授業からの解放、 様々な学習を支える多機能交流空間「ワークスペース」

- ・普通教室のほかに、居場所を作る
- ・先生と子供たちが、教え・学び・過ごし方を柔軟に創造する場

#### 【少人数教室】

- ・少人数で活用できるフリースペース
- ・グループワーク、発表、遊び場...



少人数教室のイメージ

#### 【だんだんひろば】

- ・上下階をつなぐ大階段
- ・上位・下位学年をつなぐ交流空間
- ・発表や共創の場



だんだんひろばのイメージ



ワークスペースのイメージ

## 概算事業費

### 1. 工事費

・ 建築、外構工事	5,465,221 千円
・ 解体工事	233,013 千円
・ 工事監理業務	92,166 千円
計	5,790,400 千円

【財源内訳】（令和4年度ベース）

国庫支出金 534,054 千円、県支出金 34,428 千円、  
地方債 4,980,800 千円、一般財源 241,118 千円

【工事費内訳】

No.	施設エリア／工事名	面積（㎡）	金額（千円）
A	建築工事		
1	小学校校舎	2,000	880,000
2	アリーナ	1,000	638,000
3	ミックスゾーン（音楽スタジオ、アートスタジオ、メディアラウンジ等）、市民ゾーン（公民館、支所等）児童活動センターなど	5,300	2,798,400
4	プール、付属棟、セキュリティ工事		353,100
5	基礎・杭工事		385,000
	建築工事	8,300	5,054,500
B	外構工事		
	外構工事（校庭整備、フェンスなど）		410,721
C	解体工事		
	解体工事（支所、公民館など）		233,013
	建築工事費		5,698,234
D	工事管理業務		
	工事管理業務		92,166
	全体工事費（税込）		5,790,400

### 2. 工事期間

令和6年度～令和7年度

## (所 見)

3回にわたり、農村総合管理施設条例を廃止する条例、米山地区公共施設複合化整備事業の基本計画・基本設計、工事費の概要について説明を受けた。

委員からは、複合化施設を建設する方が、それぞれの施設を修繕しながら使用するより、どれだけ有利なのかを数字で示してほしい、工事費が実施計画の1.3倍に膨れ上がっているが、最低限どこまで必要なかを明確にして、再度スリム化を図る議論をするべきではないか、今後、学校再編計画や立地適正化計画などで様々な大規模事業が予定されているが、まずは、全体のしっかりとした財政計画を示すべきではないか、などの意見が出された。

建物の規模、事業費、起債の償還を含めた一般財源の規模については、精査、検討中とのことである。委員から出た意見については、資料を提示して納得のいく説明を望むものである。

## 教育民生常任委員会 活動概要

### 【所管事務調査⑬】

1. 日 時：令和5年4月13日（木） 午後1時30分～午後2時30分
2. 場 所：迫庁舎 3階 第2委員会室
3. 協 議：登米保健所の支所化に伴う現状について
4. 参 加 者：委員長 武田 節夫、副委員長 熊谷 和弘  
委 員 遠藤 真理子、永島 順子、曾根 充敏、日下 俊、  
工藤 淳子、中澤 宏、田口 政信  
  
(市民生活部) 市民生活部長 佐々木 美智恵、  
市民生活部次長 幡江 健樹、福祉事務所長 武田 康博、  
長寿介護課長 佐藤 正人、健康推進課長 名生 忠司、  
健康推進課副参事 及川 清美、環境課長 島 靖幸、  
市民生活課課長補佐 千葉 哲彦  
  
(議会事務局) 主査 小野寺 崇
5. 概 要：(別紙のとおり)
6. 所 見：(別紙のとおり)

## ■登米保健所の支所化に伴う現状について

### (概要)

令和4年4月1日に登米保健所が石巻保健所登米支所へ支所化されたことに伴う本市における事業の現状や新型コロナウイルス感染症への対応状況について調査を行ったもの。

### 組織改編の状況

#### 1. 目的

##### (1) 専門性の確保

年々多様化・複雑化する医療機関、高齢者施設、障害者施設に対する指導・監督業務について、一層の専門性の向上を図る。

##### (2) 災害発生時の対応

自然災害や大規模な感染症が発生した場合に、今まで以上に機動的に対応できるよう組織体制を強化する。

#### 2. 時期 令和4年4月1日

#### 3. 名称

<u>登米保健所</u> (東部保健福祉事務所登米地域事務所)	➡	<u>石巻保健所登米支所</u> (東部保健福祉事務所登米地域事務所)
------------------------------------	---	--

※保健福祉事務所の名称は変更なし

#### 4. 機能分担

##### 【本所に集約した業務】

- ・医療機関に対する指導・助言
- ・高齢者施設に対する指導・助言
- ・障害者施設に対する指導・助言
- ・健康づくり事業（特定給食施設等に対する指導、職域保健や学校保健との連携・協働）など

##### 【登米支所における対応業務】

- ・住民の健康（指定難病、母子保健、各種検査など）
- ・精神保健
- ・結核・感染症
- ・住民の福祉（母子寡婦福祉資金、DV相談など）
- ・食品・薬事（食品営業許可、食中毒、薬事、温泉など）
- ・環境衛生（クリーニング業、理美容、旅館業、公衆浴場など）
- ・免許の受付・交付（医療従事者、栄養士など）

## (所 見)

登米保健所の支所化については、令和元年度に県から組織再編の方針が示され、その後、議会として「登米保健所の体制充実を求める要望書」を提出し、委員会としては、登米保健所の存続を求める会及び登米保健所との意見交換会を実施した。

さらに、全員協議会において県の保健福祉部より「保健所の体制強化」について、公衆衛生の広域的、専門的かつ技術的拠点の体制強化のため、専門性の確保、災害発生時の対応の迅速化を目的として組織体制の見直しをする旨の説明を受けた。

令和4年4月から石巻保健所登米支所がスタートしたことによる市民生活部の保健業務への影響について調査したが、現時点で業務上の影響は殆どないと報告があった。

本所、支所の機能分担がされているが、市と支所や、本所との連携を強化するシステムを構築していくことが大切である。特に、精神障がい者や母子等の困難事例への対応や災害時支援などは一層充実させていかなければならない。

組織体制の強化について、本所では、さらに専門性の向上を図り、支所は住民サービスに密接なものを担う業務分担の考え方が示されているが、今後、本所と支所間で相互の連携を図り、協調して対応することを望むものである。

## 教育民生常任委員会 活動概要

### ○今期委員会のふりかえり

当委員会では、今期の活動テーマとして「地域医療」「環境保全対策」「教育環境」「子ども・子育て」の4つを掲げ、活動を行った。

病院事業は、病床のダウンサイジングや機能分担などの改革に加え、新型コロナウイルス感染症に伴う国からの交付金などにもより、黒字に転じた。今後さらに人口減少及び少子高齢化の進展が見込まれることから、地域医療体制や救急医療体制の充実と強化に取り組む必要がある。

環境保全対策では、「宮城東和町バイオガス発電所建設計画について調査を求める陳情」が提出されたことから、内容について調査した。昨年6月定期議会において「登米市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」が制定、施行された。東和町に建設が予定されていたバイオガス発電所建設計画については、事業者が事業の中止を経済産業省に申請し、今年1月に受理された。

また、「ごみ、資源ごみ収集運搬業務」について事務事業評価を実施し、結果などに基づく提言を行った。ごみの減量化に向けた取り組みなど改善が必要と考える。

教育環境については、小学校の再編が計画通りに進んでいることから、中学校の再編についても保護者や地域の皆様との意見交換を通して、地域ごとに再編の具体化を目指すべきである。

新図書館構想については、立地適正化計画と一体となった具現化に向けてしっかり取り組むべきと考える。さらに、いじめ・不登校についても学校現場における対応について取り組む必要がある。

子ども・子育てについては、少子化の進展が保育施設に及ぼす影響などについて、登米地方保育所協議会との意見交換会を行い、多くの意見や要望が出された。さらに、子どもを安心して産み、育てていける環境づくり、そして社会の仕組みづくりに力を入れるべきと考える。

その他として、令和3年7月には、令和4年4月以降に予定される登米、栗原両市の保健所の再編に伴い、支所化するとの方針が示されたことから、「登米保健所の体制や役割などについて」をテーマに「登米保健所の存続を求める会」及び登米保健所との意見交換会を開催した。県及び市は、市民サービスが低下しないよう取り組んで頂きたい。

2年間の委員会活動をふりかえり、次の点を新しい体制の下で調査・検討されるよう期待したい。

## 《引継事項》

### ①プラスチックごみの回収、リサイクルについて

本市のごみ排出に関して、新クリーンセンターの稼働、最終処分場整備のほか、政策的には可燃ごみ袋の値下げなどを実施してきたが、この間、ごみ排出に対する有効な市民意識の醸成には至らず、ごみ減量目標は達成されていない。ごみ処理施設は地域の理解の下に成り立つ、限りある貴重な資源である。積極的なごみ処理意識の醸成を図り、持続可能な施設運営を今の世代で確立することが求められる。

この間、委員会での活動は勿論、さらに委員各位においても、自ら家庭ごみ排出の検証を行っている。家庭ごみには多くのプラごみに代表される再資源化可能物が含まれることを知った。同時に可燃ごみは、プラスチックごみを強力に再資源化しなければ、ごみの減量にはつながらないとの認識に至っている。逆の視点に立てば、市民のリサイクル意識を醸成することで、飛躍的なごみの減量が図られると考えられ、市内ごみの減量には「プラスチックの積極的回収」が有効ではないかと導いたところである。

現状でのプラスチック回収は、付加価値の高い優良なプラスチックに限って回収している状況である。令和5年度からは製品プラスチック回収の実証が行われるとのことであるが、引き続きごみの減量に直結するプラスチック回収の拡大と意識醸成について検証され、持続可能な社会実現に向け取り組まれるよう引き継ぐ。

### ②新図書館整備事業について

図書館整備事業については、予ねて図書館整備構想を立て、建設を目指していたが、その後頓挫していた。しかし、教育長が建設に意欲を示し、市長施政方針においても明確に建設の方針を示した。

本委員会においても昨年教育委員会が行った市民アンケートに2,000人を超す市民皆様から期待を寄せられたこと、教育委員との意見交換においても全委員が新たな図書館整備の必要性を考えていることを確認した。

今後においては、市民参加を重視した運営方法に調査、研究を進め、登米市らしい図書館の利活用を目指してほしい。

一方、施設の建設については、立地適正化計画で示すまちづくりの拠点に含まれる複合施設としての整備構想となれば補助金の獲得、建物間の相乗効果、拠点の魅力が高めるという視点においても特別委員会を設置して、まちづくり拠点整備構想の一体的な実現を図るべきである。

### ③地域医療のあり方

病院事業の経営状況は、コロナ禍の中で患者数が減少しているものの、病床数のダウンサイジングや病床機能の転換、市民病院を中心とした機能分担、国県か

らのコロナ対策補助金により、収支状況は、資金不足が解消し、赤字体質からの脱却の兆しが見えつつある。

しかしながら、一般会計からの繰出金は、20億円の水準が常態化している状況にある。基準内、基準外繰り出しの検証や企業会計である以上、自立した企業体である意識をもって中長期計画の再構築を図り、経営改善に取り組む必要がある。

市民が安心して医療提供が受けられる病院を目指して、次の点について持続可能な地域医療体制の構築と収支改善の方向を調査、検証されたい。

- (1) コロナ後患者数と病床稼働率と収支の状況
- (2) 一般会計からの繰出金の検証
- (3) 分院化構想
- (4) 老人保健施設事業の検証および方向性